



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム



ガーナ児童労働フリーゾーンに関する JICAの取組



JICAガバナンス・平和構築部
法・司法チーム

児童労働撤廃に向けたJICAの取組

● 人間の安全保障の実現

● SDGsへの貢献

「…2025年までに…あらゆる形態の児童労働を撲滅」 (SDG8.7)

● 「『ビジネスと人権』に関する行動計画」への貢献

「児童労働撤廃に関する国際的な取り組みへの貢献」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bhr/index.html>

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100104121.pdf>



ガーナ児童労働フリーゾーンに関するJICAの取組

2020年3月	CLFZガイドライン完成式典開催支援
2020年10月 ～2022年6月	「カカオ・セクターを中心とした児童労働にかかる情報収集・確認調査」（CLFZパイロット活動）
2021年9月	ガーナ政府から日本政府へのCLFZ普及展開に関する協力要請
2022年3月	協力要請の採択
2022年2月・4月	新規協カプロジェクトに関するガーナ政府との協議
2022年度中	新規協カプロジェクト開始予定



ガーナ児童労働フリーゾーンに関する新規協力の方向性

- 目的：実効的で持続可能なCLFZシステムの構築
- 協力内容
 - ① CLFZの実施体制強化
 - ② 開発パートナー間の連携強化
 - ③ パイロット地域のCLFZ認証に向けたモデル活動の試行
 - ④ 資金動員メカニズムの検討（CLFZ産力カオ豆の認証制度等）



プラットフォーム

会員：業界団体、企業、コンサルタント、NGO、弁護士 他

(44団体と92個人) ※2022年7月時点

- (1) 会員間の情報・経験の共有
- (2) 会員間の協働の促進
- (3) 国内外に対する発信 等

連携
学び合い

国際的なパートナーシップ
ILO, UNICEF, 世界カカオ財団,
国際カカオイニシアティブ, 米国
労働省、各国のサステナブル・
カカオ・プラットフォーム
(GISCO, SWISSCO, etc.)

参加 / 共創・協働
資源動員
知見の共有

JICA主導事業



企業・NGO等
主導事業

人権DD・グリーン
ンスメカニズムの
設計

日本の市民への発信

経済社会開発

責任ある企業行動
消費行動 (エシカル消費等)

事業

開発途上国における社会的、経済的、環境的に持続可能なカカオ産業
(=サステナブル・カカオ) の実現への貢献



Platform
for Sustainable Cocoa
in Developing Countries

★プラットフォーム会員募集中★

お気軽に事務局にお問い合わせください！

✉ sustainable_cocoa@jica.go.jp

🔍 開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム